

東京都立大学哲学科（首都大学東京哲学教室）

2007年度卒業論文・修士論文中間発表会

日時：11月7, 8, 9日、3・4・5限

場所：5-416教室(哲学演習室)

11月7日(水)	①13:00-14:00 北村哲紀 現在主義について ②14:00-14:45 熊谷 豪 固有名について —休憩— ③15:00-16:00 関本初穂 自然と技術の類比について—アリストテレスにおける内在的原理の目的指向性
11月8日(木)	①13:00-14:00 竹内勇記 ベルクソンと努力の問題 (14:00-15:00は学科ガイダンス開催のため中断) ②15:00-16:00 持田貴士 律法のわざからは人はなぜ義とされないのか ③16:00-16:45 渋川優太 カントの道徳法則について
11月9日(金)	①13:00-14:00 古澤香乃 アキレウスの武勇譚 ②14:00-14:45 上野由貴 ウェルギリウス『アイエーネス』第6巻の文学的統一性 —休憩— ③15:00-16:00 金丸聡子 Ibun Rushdにおける哲学と信仰の調和—宇宙の永遠性について ④16:00-17:00 村田 允 エピクロス哲学におけるプロレープシスと神について